



### 「発達」の段階を経て成長する子供たち

園長 河原 宏子

入園して2か月が経ち、年少組は様々な経験をし、「自分のことは自分です」「先生や友達と一緒に遊ぶと楽しい」ということが少しずつ分かり、「安定」から「かかわり」の時期に入りました。また、年長組は当番活動や誕生会の司会など園をリードしていく役割もこなし、目的をもって遊びや生活を進めていく姿も多くなってきました。

人の成長には、発達の段階があります。突然話すことができないように、様々な体験を通して成長していきます。

ゆり組の子供たちは、幼稚園の生活に慣れ安定してくると、周りが見えてきて、自分の好きな友達と関わろうとしていきます。相思相愛ならいいのですが、なかなかそうはいきません。うまく関係が作れないことも見られるようになります。子供たちも様々な葛藤を通して気の合う友達を見付けたり、いろいろな思いをもつ友達がいることを知ったりしていく時期です。これは必ず通る道筋で、友達との関係づくりには時間がかかります。適時援助を繰り返しながら生活を進めてまいります。保護者の方は、ゆったり構えてこの道筋を経験させてあげてください。

一方、すみれ組は「思いや考えを伝え合う時期」に入ります。「伝え合う」のは、大人でも難しいことです。「そんなつもりではなかった、、、」ということもしばしば、トラブルにもなります。二人から三人で相談し、何かを創り上げる経験や、遊びの中での相談を見逃さずに、教師は自分の言葉で伝えられるよう援助したり、互いの思いを橋渡ししたりしていきます。少しずつ体験を積み重ねていくことで、友達の輪を広げ、自分の思いや考えを伝えていくことができるようになっていきます。

子供の成長には段階があること、また、個人差があり一律ではないことを保護者の皆様にはご理解いただき、温かい目で見守ってほしいと思います。



### 今月のねらい

#### <年少ゆり組>

- ・同じ場で遊んでいる友達の存在に関心をもち、一緒に触れ合ったりかかわったりする楽しさを感じる。
- ・砂遊びや水遊び、プール遊びに親しむ。

#### <年長すみれ組>

- ・興味のある遊びに取り組む中で、友達と一緒に目的をもち、考えたり試したりすることを楽しむ。
- ・遊びや生活の中で、自分の思いを出したり相手の気持ちに気付いたりしながら、友達とのつながりを感じる。
- ・水遊びの約束を守り、開放感を味わいながら友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください。



緑幼稚園 HP  
QRコード